

# 令和元年度（2019年度） 経済環境常任委員会管内視察の概要

- 1 視察日 令和元年（2019年）11月19日（火）
- 2 視察者 経済環境常任委員会委員（8名）  
高野洋介（委員長）、中村亮彦（副委員長）、松田三郎、池田和貴、磯田 毅、濱田大造、本田雄三、南部隼平

## 3 視察の概要

### （1）パークドーム熊本（熊本市東区）

2019女子ハンドボール世界選手権大会が11月30日から12月15日まで開催されるが、パークドーム熊本は、県内5カ所ある会場のうちのひとつで、決勝ラウンドが行われるメイン会場となっている。当会場における大会開催に向けた観覧席、照明、大型ビジョン、メディアセンターの施設整備が着々と進められ、11月上旬に概ね完了したところである。



今回の視察では、大会を目前に控えた運営の準備状況及び施設の整備内容等について視察した。

チケットの売れ行きは、11月15日時点で46%であり、観戦者数目標30万人達成を目指して、今後もさらなる広報・PRを続けていくと説明があった。

また、仮設観覧席、大型4面ビジョン、サインの多言語化、授乳室や親子休憩スペースの設置など国際大会基準に対応し、誰もが快適に過ごせることなどを基本方針とした会場整備の状況について説明があった。

### （2）合志技研工業株式会社（合志市豊岡）

同社は、昭和49年に設立された誘致企業で、主に二輪自動車の部品生産を手がけており、高品質・高性能のものづくりを目指し、海外にも拠点を持つグローバル企業として活躍している。さらに、働く人が生き生きと輝き、安心して働けるブライト企業として県に認定されており、雇用促進の面でも積極的な取り組みを行っている。



今回の視察では、熊本の経済発展を牽引する同社の最新技術や製造の現場、ブライト企業としての取り組み状況を視察した。

同社では、社内に製品開発と試作を保有し、塑性加工、接合、表面処理の試作から量産までの一貫加工体制を構築しており、その技術をもって、タイ、ベトナムなど海外に積極的に進出しているとの説明があった。

また、人間性を尊重し、常に明るく働きがいのある職場づくりを基本方針に掲げ、有

給休暇の完全消化などに取り組み、ブライツ企業としての認定を受けているが、PRすることで雇用促進につながっているとの説明があった。

### (3) 株式会社エコポート九州（熊本市西区）

同社は、平成 19 年に設立された誘致企業で、使用済みのプラスチック製容器包装類を最新鋭の光学式選別機により素材毎に選別し、ペレットと呼ばれる再生樹脂原料を生産するプラスチックマテリアル事業のほか、官公庁や民間企業から排出される機密書類や個人情報を含む書類を最新鋭のセキュリティシステムと監視カメラ下において、安全・迅速に情報を抹消し、かつ再生資源として、製紙原料となる「古紙パルプ」を生産する機密書類溶解事業等を行っている。



今回の視察では、廃プラスチックや機密文書の最新のリサイクル技術について視察した。

廃プラスチックについては、最新の光学式選別機で素材ごとに分別するため、機能的に高品質な製品へのリサイクルが可能であること、また、機密文書については、委託者の信頼第一のため徹底したセキュリティシステムを導入し、溶解処理を行っているとの説明があった。